



たかぼろ



綾川町立羽床小学校

雲の峰(くものみね)



「雲の峰」とは、山の峰のようにそそり立つ雲、いわゆる「積乱雲」のことをいいます。他には「入道雲」や「雷雲」ともいいます。雷鳴がとどろき、梅雨の終わりを告げると太陽が照りつけてきます。そんな夏の季語として俳句に使われます。「積乱雲」は上昇気流によって発達し、高さは10kmを越え、時には成層圏(高度約10km～50km上空)にまで発達することもあるそうです。「積乱雲」が発生すると大気が不安定になり、急な大雨やひょうを降らしたり、竜巻などの激しい突風も発生させたりすることがあります。(気象庁ホームページより)

太陽の輝きが一段と増し、陽ざしがきつくなる「夏」。あまりの暑さについつい冷たいものに手が伸びて食欲が減退したり、室内と室外との温度差などで体がだるくなったりと「夏バテ」を引き起こすことがあります。この夏バテを解消するために、7月の「土用の丑の日」(どようのうしのひ)

に「うなぎ」を食べるのがいいといわれています。この風習は、江戸時代に郷土香川の発明家でもある平賀源内(ひらがげんない)が、知り合いのうなぎ屋さんから「夏はうなぎが売れない」と聞き、店頭で「土用丑の日、うなぎの日」という貼り紙をすることを勧め、店が大繁盛したのが起源だと言われています。もともと、土用の丑の日に「う」のつくものを食べると病気になるという言い伝えがあり、「う」のつく食べ物として、「うなぎ」が定着したともいわれています。「土用」とは、立春、立夏、立秋、立冬それぞれの前18日間をいいます。冬土用が1月17日～2月3日、春土用が4月17日～5月4日、夏土用が7月20日～8月6日、秋土用が



10月20日～11月6日です。さらに丑の日となると、今年は7月30日が「土用の丑の日」となります。また、うなぎのかば焼きには、背開きを蒸してから焼く「関東風」と、腹開きをして直接焼く「関西風」があります。背開き腹開きの理由は「関東は武士の文化が強く「切腹」をイメージさせるから」〔関西は商人の文化が強く「腹を割って話す」から〕だともいわれています。

ともあれ、夏バテしないように、①こまめな水分補給を ②気温差に注意して ③睡眠をしっかり ④1日3食、栄養バランスを考えた食事 をするなどを心がけましょう。



元気ではつつ、いろいろなことに挑戦する『夏休み』にしましょう！

児童の活動のようす

令和5年度 運動会



5/27(土)、令和5年度運動会を開催。観客制限をなくしたことで、約130人もの参観があり、活気にあふれました。五月晴れの下、テーマ「心をひとつに全力パワー」に向け、演技&競技に全力投球しました。日誌を持ってきた児童から「楽しかった。」「1,2,3年生のダンスが可愛い、上手、扇子の踊りが素敵」「さすが4,5,6年生！ダンスも組み立てもリレーもすごい。」「優しく教えてくれた。」等の感想が聞けました。お互いから学び合うことができました。



テーマ
心をひとつに 全力パワー



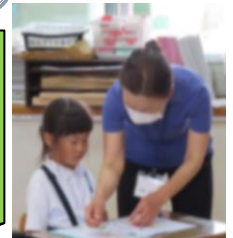
プール開き等

6/2(金)、プール開きをしました。代表6人がめあてを発表。「色々な泳ぎができるよう頑張る。」「去年よりも長い距離が泳げるようにしたい。」等々。



スタディアドバイザー(SA)&なでしこ会

6月より地域の方々がボランティアで学習支援(SA)や本の読み聞かせ(なでしこ会)を行ってくれます。SAは週1回、なでしこ会は月1回来校され、子どもに関わって下さります。児童も講師も楽しみな一時で、お互い『わかる&元気をもらう』という相乗効果にもなっています。



塩水選 5年生

5/31(水)、米づくりでの塩水選に臨みました。今後、もみまき→代かき→6/26 田植え…と続きます。



3年ぶりのランチルーム給食 再開



コロナ禍では、教室で食べていた給食を、6/5より全校生がそろってランチルームで食べることにしました。「基本的な感染症対策と最初の10分間は黙食(時間内に完食するよう)」という約束で取り組んでいます。黙食という行動が習慣となり、会話OKの時間でも静かな状態です。準備・片付け・食事を全校生で行い、異学年の動きを見て学ぶ機会は意義深いことと考えています。

【7月のおもな行事】

- 7日(金) 国際交流七夕茶会
- 8日(土) リーダーキャンプ(～9日)
- 10日(月) PTA本部&運営委員会

- 19日(水) 期末懇談
- 20日(木) 終業式(7/21～8/31 夏季休業日)
- 25日(火) 秩父別交流事業(～28日)